

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公表番号】特表2010-521184(P2010-521184A)

【公表日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2009-553875(P2009-553875)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 Q 1/02 Z N A

C 1 2 N 15/00 A

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/53 D

C 0 7 K 14/47

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年5月10日(2013.5.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 9】

本明細書において使用される場合、用語“思春期突発性側弯症を発症するための可能性ある候補体”とは、少なくとも片方の親が思春期突発性側弯症を有する子供を包含する。他の要因の中で、年齢（思春期）、性別及び他のファミリー素性が、側弯症を発症する危険性に寄与することが知られ、そしてAISの発症の危険性を評価するために一定の程度まで使用される要因である。ある対象においては、側弯症は、矯正手術を必要とする点まで（しばしば、変形が50°以上のCobb's角度に達する場合）、短期間で急速に進行する。診断される（側弯症が明らかである場合）瞬間IASから入手できる作用の現在の進行は、観察（Cobb's角度が約10～25°である場合）、整形法装置（Cobb's角度が約25～30°である場合）、及び手術（45°以上）を包含する。